

英語 I B (English IB)

担当教員名:非常勤講師 浅野 敏朗

【概要】

今日、保健・医療・薬学の分野で多くの情報が英語でやりとりされています。グローバルな視野を持って医療に従事しようとするならば、英語による情報処理能力は不可欠であると言っていいでしょう。英語による大量の情報を短時間で正確に処理する能力はまさに時代の要請です。

この科目では、医療にかかわる多種多様な英文を幅広く読んでいきます。「役に立つもの」から「面白いもの」まで、できうる限りみなさんに興味と関心をもって読んでもらえる内容のテキストを提供したいと考えています。まずは、直読直解ができるようになること、すなわち、日本語に直さないで英語の語順で理解ができるようになること、概要や要点をしっかりと把握しながら読み進むこと、未知の語句は文脈から上手に推測できるようになること、書かれている内容について感想や意見が言えること、などを当面目指していきましょう。

また、ただ単に読むことだけに終始することなく、適宜、音読、リスニング、スピーキング、そしてライティングの学習も取り入れて、英語への多角的で自在なアプローチを試みたいと考えています。授業時に配布するプリントを中心に学習を進めますので、予習より十分な復習に重点を置きながら、授業には積極的に参加されることを期待します。

なお、下記の「学習項目・学生の到達目標」にあげた内容は現在の予定です。実際の授業では、みなさんの理解の度合いや、意見や感想をもとに変更・更新していきます。授業の活性化を目指して、医療分野以外のトピックも随時取り入れます。

【授業の一般目標】

英文の読解力養成を目標とします。概略、次の各項目を目指します。

- (1) 医療にかかわる多様な英文を、興味・関心をもって楽しく読める態度・姿勢を身につける。
- (2) 医療に関係する語彙力を増強するとともに、英語の文型・構文の自動的処理能力を高める。
- (3) 細部の正確な文法・構文の理解をもとに、個々の英文の意味を的確に把握する力を養う。
- (4) 英文の全体的な流れに着目し、大切な事柄を正確に理解する力を身につける。
- (5) 意味を十分に理解しながら、正しい発音とイントネーションで音読できる力を育成する。

【成績評価方法・基準】 出席状況、授業参加への積極性、授業での発表、提出物、そして定期試験の結果などにより、多角的かつ総合的に評価します。言葉の学習は、基本的にコミュニケーション技術の習得にあるから、授業における積極的な姿勢、態度、そして意欲が、まず評価の対象になります。

【備考】(担当教員に対する質問等の連絡方法)

授業時間にコンタクトをとって下さい。